

IT戦略特命委員会



サイバーセキュリティにおける現状と課題

株式会社 F F R I (東証マザーズ : 3692)

<http://www.ffri.jp/>

事業概要：設立の経緯

米国の研究開発の現場で感じた日本との違い

基礎技術研究の重要性

技術シーズのビジネス化

米国の研究開発の現場で感じた母国に対する危機感

研究開発力の格差拡大

日本発のインシデント対応

国産の対策技術の必要性

研究開発の源流を日本に創り、日本から世界に技術を発信

事業概要：市場

情報セキュリティ市場

内部脅威対策

情報漏えい
対策

認証セキュリティ
対策

ログ管理

外部脅威対策

STAP※（特化型脅威対策）

標的型攻撃
対策

未知
マルウェア
対策

未知
マルウェア
解析

ウイルス対策

FW/VPN
/UTM

メール
セキュリティ

FFRIが注力する市場

従来型のセキュリティ対策で守ることが難しい、標的型攻撃や急増するウイルスからシステムを守る製品又はサービスで構成される市場です。

従来型のセキュリティ対策市場

アンチウイルスソフトやファイアウォールといったもので構成され、標的型攻撃や急増するウイルスからシステムを守ることが難しくなっています。

※Specialized Threat Analysis and Protection

事業概要：研究開発

FFR yarai は、
 パターンファイルに依存せず、マルウェアや脆弱性攻撃を防御し、
 既知・未知の脅威から大切な情報資産を守ります。



標的型攻撃に特化した
 ヒューリスティック検出技術で
 未知の脅威に対抗する
 日本発の次世代セキュリティ

日本のサイバーセキュリティにおける現状と課題

- 外部環境の大きな変化で、大きなパラダイムシフトが生まれつつある
 - サイバーセキュリティ対策はより困難に
 - プレイヤーの入れ替えが発生。日本も存在感を出す大きなチャンス
- サイバーセキュリティはイノベーションと両輪
 - セキュリティがICT産業のボトルネックの一つとなっている
- 日本のサイバーセキュリティ産業は研究開発に強い
 - 技術分野ではグローバルでも十分戦える
 - 研究開発人材は豊富 (その他セキュリティ人材は不足)
- サイバーセキュリティ対策の産業的な国際競争力が弱い
 - 付加価値の高い産業に
 - 人海戦術に終始するのではなく研究開発でスケールさせる
 - 海外展開(セールス、マーケティング)におけるロールモデルが無い